3 地域医療・総合診療実践学寄附講座

1. 活動概要

「地域医療・総合診療実践学寄附講座」は、平成27年度末に廃止された「地域医療システム学寄附講座」の後継として平成28年4月1日に設置され、本年度が最終年度となっていましたが、これまでの3年間の実績に基づき、さらに延長されることになりました。

同講座は、これまでの医師循環システムに関する調査研究や地域医療実習教育に関する調査研究等の成果を踏まえ、「医学生や若手医師への卒前からの一貫した地域医療教育」「総合診療医の育成」「地域医療実践教育拠点の運営」など、地域医療を志す医師の養成を目指して、より実践的な取組みを進めています。具体的には、熊本大学医学部医学科学生（熊本県医師修学資金貸与学生含む。）や若手医師に対して、卒前からの一貫した地域医療教育を通した、地域医療マインドの涵養に取組んでいます。また、今後地域医療への貢献が期待される総合診療専門医の育成において、玉名と天草の医療機関に総合診療の教育拠点を設置するとともに、医師の不足する地域の医療機関に対して診療支援を行っています。

また、令和3年4月には、天草市立河浦病院に河浦教育拠点を開設することとなりました。

【主な内容】

① 地域医療支援（診療支援）
② 調査・研究
③ 教育活動
- 卒前教育（カリキュラム内教育）
- 卒後教育
  - 初期臨床研修
  - 専門研修

④ 指導医養成
⑤ 講演会

2. 年間活動実績

月	日	行事
5	21	令和2年度合同Webカンファレンス①
6	18	令和2年度合同Webカンファレンス②
	24	第11回レジデントデイ
	26	クリクラ第13ﾀｰﾑ 振り返り会
7	16	令和2年度合同Webカンファレンス③
	16	TMEC
	17	クリクラ第1ﾀｰﾑ 振り返り会
	31	第１回熊本大学総合診療セミナー
8	19	第12回レジデントデイ
	20	令和2年度合同Webカンファレンス④
9	4	クリクラ第2ﾀｰﾑ 振り返り会
	25	クリクラ第3ﾀｰﾑ 振り返り会
10	15	令和2年度合同Webカンファレンス⑤
	16	クリクラ第14ﾀｰﾑ 振り返り会
	19	第２回熊本大学総合診療セミナー
	30	第13回レジデントデイ
11	6	クリクラ第4ﾀｰﾑ 振り返り会
	26	TMEC
	27	クリクラ第5ﾀｰﾑ 振り返り会
12	11	第14回レジデントデイ
	17	TMEC
	18	クリクラ第6ﾀｰﾑ 振り返り会
1	15	第15回レジデントデイ
	22	クリクラ第7ﾀｰﾑ 振り返り会
2	12	クリクラ第8ﾀｰﾑ 振り返り会
	12	第16回レジデントデイ
	26	第３回熊本大学総合診療セミナー
3	5	クリクラ第9ﾀｰﾑ 振り返り会
	19	第４回熊本大学総合診療セミナー

3. 活動報告

Ⅰ 地域医療支援(診療支援)

大学病院においては､｢総合診療科｣の外来診療を月曜日から金曜日まで実施し、専門診療科以外の受診を目的とした初診患者を中心に診療を行いました。また、大学病院の救急外来診療等も担当しました。

玉名教育拠点にては､｢総合診療科｣の外来及び病棟診療を行いました。また、同院の救急診療にも携わりました。その他の熊本県内の医師が不足している病院に対し、県からの要請に基づき、診療支援活動を行いました。

◆ 大学病院　総合診療外来

月	火	水	木	金
谷口	松井	髙柳	佐土原	松井
			谷口（奇数週）	

◆ 学外診療支援

谷口	2020. 4～2021. 3　公立玉名中央病院（第 1、3, 5 週） 2020. 4～2021. 3　天草地域医療センター（第 2、4 週）
佐土原	2020. 4～2021. 3　公立多良木病院（週 1 回） 2020. 4～2021. 3　山都町包括医療センターそよう病院（週 1 回）

Ⅱ 調査・研究

◆ 地域医療実習教育に関する調査研究

医学科3年次学生に対する地域医療実習(早期臨床体験実習Ⅲ)については、今年度も各受入先施設の実習計画を学生に事前提供できるよう、実習協力施設に対し実習計画調査表を送付し、実習内容の調査を行いました。

◆ 総合診療専門医普及に関する調査研究

｢熊本大学総合診療専門研修プログラム｣については、プログラムの変更申請に際し、プログラム内容の更新及び充実のため、研修内容、施設情報、指導医の有無の調査を行いました。また、総合診療専門医の特任指導医講習会の受講状況を調査し、これまで専攻医が検収した連携施設は講習会を受講済み若しくは本年度受講予定の指導医が在籍しており、総合診療専門医の研修施設の要件を満たしていることが分かりました。

◆ 医療機関の勤務環境に関する調査研究

県内医療機関の勤務環境について、熊本県地域医療支援機構と連携して調査・研究を行いました。調査結果は、医師修学資金貸与医師が勤務先を選択する際の資料として活用することにしています。また、熊本県女性医師キャリア支援センターと連携して、子育てと仕事の両立などに関するアンケート調査を行い、活動の方向性について検討を行いました。

Ⅲ 教育活動

◆ 卒前教育（カリキュラム内教育）

地域医療システム学寄附講座を設置以来、これまでも医学科カリキュラムの実施に協力してきましたが、今年度も、地域医療・総合診療実践学寄附講座及び地域医療支援センターに対して、医学科長からの依頼に基づき、以下の実習及び講義を行いました。

・1年生：早期臨床体験実習Ⅰ、医学概論※
・2年生：早期臨床体験実習Ⅱ、医学英語
・3年生：早期臨床体験実習Ⅲ、公衆衛生学
・4年生：医療と社会Ⅰ、総合診療学、臨床実習入門、チュートリアル
・5年生：特別臨床実習
・6年生：特別臨床実習
・6年生：特別臨床実習

【1年生】

医学概論	
2020/6/15	後藤 「医師の男女共同参画とワークバランス、キャリア形成」

現代社会と医学B	
2020/7/31	谷口・田宮 「地域中核病院からみた地域医療」
2020/8/ 7	谷口・片岡 「熊本県の地域医療について」

行動科学Ⅰ	
2020/7/ 6	谷口・高野 「医療における自由と制限」
2020/8/ 3	谷口 「コミュニケーション」

早期臨床体験実習Ⅰ	
2020/7/2・9	谷口 「ECE 向け準備」
2020/8/17 20・24・27	松井・谷口 「施設実習（オンライン含む）」
2020/9/24	松井・谷口 「ECE Ⅰ 発表会1」
2020/10/1	松井・谷口 「ECE Ⅰ 発表会 2」

【2年生】

医学英語	
2020/11/25	小山 「プライマリケア」
2020/12/ 2	佐土原 「腫瘍医学」

【3年生】

早期臨床体験実習Ⅲ	
2020/9/30	髙柳 「オリエンテーション」
2020/11/27	髙柳 「導入」
2020/11/30 -2020/12/4	髙柳 「学外実習」
2020/12/4	髙柳 「振り返りグループワーク」

① 早期臨床体験実習Ⅰ・Ⅱ(ECEⅠ・Ⅱ)

早期臨床体験実習Ⅰは1学年を対象とし、Ⅱは2学年を対象として、6年前に改正された新カリキュラムに基づき必修科目として実施されているものであり、Ⅰは従来から実施していた「早期社会体験実習」の名称を変えて、またⅡは3年間の早期臨床体験実習の中間に位置付けています。

早期臨床体験実習Ⅰについては、臨床医学教育研究センターが実施責任者となり、当講座が協力する形で、1年生110名に対し、8月17日・20日・24日・27日の4日間で実施されました。今年は新型コロナウィルスの影響により、例年のような施設を訪問しての実習が難しかったため、ご協力頂いた県内21施設(心身障害児(者)施設、慢性疾患療養施設、老人保健施設、特別養護老人ホーム、療養型病院等)の多くは、ｗｅｂやメールを利用して、施設概要の説明や質疑応答といった形で対応いただきました。また、実習後は、9月24日、10月1日の2回に分けてグループ毎に発表会を行いました。

なお、2月25日～ 3月3日に実施予定だった早期臨床体験実習Ⅱについては、新型コロナウィルスの影響により昨年度に続き今年度も中止となりました。

② 早期臨床体験実習Ⅲ(ECEⅢ)

早期臨床体験実習Ⅲは、早期臨床体験実習Ⅰ(1学年対象)及び早期臨床体験実習Ⅱ(2学年対象)に続く完結版として、また上位学年で実施される臨床実習への基礎入門編として3学年を対象に必修として実施されています。

平成26年度入学の学生から適用される新カリキュラムに基づき、当講座が実施しています。

今年度は、11月30日～12月4日の5日間に渡り、県内の106 医療機関の協力を得て、3年生全員(117名)が実習を行いました。また、9月30日に学生オリエンテーション、実習前週金曜日(11月27日)の午後に「導入」を行い、週明け月曜日には朝から実習を開始出来るよう日程を配慮し、最終日4日の午後からは「振り返り」を大学内にて実施した。

また、実習実施に当たっては、１１月４日にオンライン(Ｗｅｂ)にて事前説明会を開催し、その後参加出来なかった施設には後日視聴できるようYouTubeに動画をアップしました。実習受入施設のうち77施設の指導医及び担当事務の方の参加希望を頂き、実習の指導徹底を図りました。

また、今年度も学生が実習先の選定材料となるよう、事前に実習協力施設に対し「実習計画調査票」の作成を依頼し、1週間の実習計画についての調査・聞取りを行い、学生に開示しました。

● 早期臨床体験実習Ⅲ　指導医ワークショップ

【日時】 2020年11月4日(水)
【開催方法】 Zoomによるオンライン開催(後日YouTubeによる動画も公開)
【内容】 実習概要・目的について、ログブック・評価について、実習詳細について

【4年生】

医療と社会	
2020/6/24	谷口・下地 「医療人類学」
2020/7/13	後藤・蓮沼 「男女共同参画」

チュートリアル実習	
2020/10/14	谷口 「補足講義」

総合診療学	
2020/4/21	谷口 「医療面接」
2020/4/28	佐土原 「身体診察概論」
2020/5/12	佐土原 「臨床推論概論」
2020/5/19	髙柳 「臨床推論演習 1」
2020/5/26	髙柳 「臨床推論演習 2」
2020/6/2	鶴田 「臨床推論演習 3」
2020/6/9	松本 「臨床推論演習 4」
2020/6/16	松井 「総合診療概論」

臨床実習入門	
2020/10/19 -2020/11/12	髙柳「医療面接」

プレ臨床実習	
2020/11/30 -2020/12/4	谷口 「電子カルテ実習」

公衆衛生学	
2020/6/25	中本 「地域保健、地域医療②」
2020/6/25	佐土原「地域保健、地域医療③」
2020/6/26	鶴田 「保健・医療・福祉・介護の仕組み③」
2020/6/26	髙柳 「予防医学と健康維持増進③」

【5年－6年生】

特別臨床実習（クリクラ：クリニカルクラークシップ）

＜授業の目的＞

診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師として最低限必要な医学知識、臨床推論、臨床判断・技能・態度などの能力を身につけることを目標とする。

＜授業の概要＞

現在、5 学年の 7 月から 6 学年の 9 月までの全 13 ターム(1 タームは 3 週間)で実施されている特別臨床実習において、当講座は、平成 26 年度から地域医療を提供している。

▼各医療機関の特別臨床実習「地域医療」および「総合診療＊」における学生受入人数

No.	施設名	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	累計
1	阿蘇医療センター	--	--	--	2	3	1	8	7	21
2	天草地域医療センター	--	--	--	5	5	12	13	9*	43
3	荒尾市民病院	--	--	--	--	5	9	10	11	35
4	小国公立病院	4	8	9	3	6	4	4	7	45
5	上天草総合病院	3	10	13	4	0	2	6	8	46
6	菊池郡市医師会立病院	--	--	--	--	2	7	6	1	16
7	御所浦診療所	--	--	--	5	2	4	5	2	18
8	そよう病院	4	4	13	4	0	4	6	4	39
9	公立多良木病院	1	0	0	6	2	5	11	7	32
10	人吉医療センター	--	8	19	7	7	20	9	12	82
11	水俣市立総合医療センター	--	--	--	6	5	9	10	9	39
12	山鹿市民医療センター	--	--	--	--	5	8	11	9	33
13	熊本総合病院	--	--	--	--	--	7	13	11	31
14	熊本労災病院	--	--	--	--	--	10	11	10	31
15	公立玉名中央病院（クリクラ総診のみ）	--	--	5	17	16	4*	15*	8*	68
	合計	12	30	54	42	42	106	138	115	579

R2年度の地域医療はインタビュー実習等を含む
＊クリクラ総合診療科実習も含む

◆ 特別臨床実習：地域医療

5学年夏から6学年秋までの全13 ターム（1タームは3週間。12タームまでは5・6年次の必須科目。14タームは6年次の選択）で実施される特別臨床実習において、当講座は平成26年度から地域医療を提供しています。

今年度は県内の14医療機関の協力、6年生は昨年度から引き続き4ターム（選択含む）を行い、5年生は6月から9ターム分を実施し、5・6年生の107人に対し地域医療実習を提供しました。毎ターム最終金曜日の15時より、各施設で実習を行った学生を集めての振り返り会を行いました。

また、6月には5学年のガイダンスにて学生向けの説明会をオンラインにて実施しました。

▼2020-2021年度　特別臨床実習「地域医療」の受け入れ人数

		前期				今期									
No.	実習受入先	11 2019 4/20-5/15	12 2019 5/18-6/5	13 2019 6/8-6/26	14 2020 9/28-10/16	1 2020 6/29-7/17	2 2020 8/17-9/4	3 2020 9/7-9/25	4 2020 10/19-11/6	5 2020 11/9-11/27	6 2020 11/30-12/18	7 2020 1/4-1/22	8 2020 1/25-2/12	9 2020 2/15-3/5	合計
1	阿蘇医療センター	新型コロナウィルスの影響により各施設へインタビュー実習	新型コロナウィルスの影響により各施設へインタビュー実習				1	1	1			1	1		5
2	天草地域医療センター			1			1	1		1		1	1		6
3	荒尾市民病院			1		1	1	1	1	1		1	1	1	9
4	小国公立病院				1	1	1		1		1	1			6
5	上天草総合病院						1		1		1	1	1	1	6
6	菊池郡市医師会立病院										1				1
7	御所浦診療所			1						1					2
8	そよう病院			1									1		2
9	公立多良木病院			1		1	1	1	1				1		6
10	人吉医療センター					2	1	2		2	2			2	11
11	水俣市立総合医療センター			1		1	1	1	1			1		1	7
12	山鹿市民医療センター					1			1	1	1	1		1	6
13	熊本総合病院			1	1	1		1		1	1	1	1	1	9
14	熊本労災病院					1	1	1	1	1	1		1	1	8
	学内*（インタビュー実習等）	10	10	3											23
	合計	10	10	10	2	9	9	9	8	8	8	8	8	8	107

＊新型コロナの影響により学内にてインタビュー実習、ZOOM講義等を実施

▼診療所・病院のスケジュール例

人吉医療センター					
	月	火	水	木	金
1週目	オリエンテーション 総合診療・救急センター 総合診療	キャンサーボード 小児科	プライマリケアカンファレンス 病棟回診 訪問看護 訪問診療	五木村診療所	外科合同カンファレンス 総合診療 救急センター 訪問診療 訪問看護
2週目	モーニングレクチャー ドクターズ会、病棟回診 総合診療 救急センター	五木村診療所	プライマリケアカンファレンス 病棟回診 選択診療科での実習	プライマリレクチャー 病棟回診 選択診療科での実習	外科合同カンファレンス 訪問診療
3週目	モーニングレクチャー ドクターズ会、病棟回診 選択診療科での実習	五木村診療所	プライマリケアカンファレンス 病棟回診 総合診療・科学療法外来 訪問看護またはリンパ浮腫外来	プライマリレクチャー 病棟回診 選択診療科での実習 総合診療・救急センター	外科合同カンファレンス 総合診療・救急センター まとめ

選択診療科：
小児科、産婦人科、代謝内分泌内科（外来）、外科、整形外科、その他希望診療科

御所浦診療所					
	月	火	水	木	金
1週目	朝礼 眼科外来/総合診療外来 総合診療外来	朝礼 検査 総合診療外来 船で横浦へ移動 府外来 外来終了後に訪問診療 御所浦島に帰島	朝礼 整形外科外来/ 総合診療外来	朝礼 検査 総合診療外来 船で横浦へ移動 外来 外来終了後に訪問診療 御所浦島に帰島	朝礼 検査 総合診療外来 スタッフミーティング 総合診療外来/訪問診療 振り返り・次週の予定確認
2週目	朝礼 眼科外来/総合診療外来 総合診療外来	朝礼 検査 総合診療外来 船で横浦へ移動 府外来 外来終了後に訪問診療 御所浦島に帰島	朝礼 整形外科外来/ 総合診療外来	朝礼 検査 総合診療外来 船で横浦へ移動 外来 外来終了後に訪問診療 御所浦島に帰島	朝礼 検査 総合診療外来 スタッフミーティング 総合診療外来/訪問診療 振り返り・次週の予定確認
3週目	朝礼 眼科外来/総合診療外来 総合診療外来	朝礼 検査 総合診療外来 船で横浦へ移動 府外来 外来終了後に訪問診療 御所浦島に帰島	朝礼 整形外科外来/ 総合診療外来	朝礼 検査 総合診療外来 船で横浦へ移動 外来 外来終了後に訪問診療 御所浦島に帰島	朝礼 検査 総合診療外来 スタッフミーティング 総合診療外来/訪問診療 振り返り（個人で）その後、総括

◆ 特別臨床実習：総合診療科

この実習は救急・総合診療部の実習ではなく、地域医療・総合診療実践学寄附講座として独立した「総合診療科」の実習となり、１ターム3週間の選択実習を行いました。

今年度より、大学病院、玉名教育拠点の他に天草教育拠点での実習も始まりましたが、新型コロナウィルスの影響により、２つの教育拠点での実習が難しい状況が続き、大学病院での実習に変更して実施しました。大学病院17名、玉名8名、天草１名の合計26人に実習を提供しました。

公立玉名中央病院					
	月	火	水	木	金
1週目	病棟回診 外来研修 外来レビュー 病棟研修 新患カンファレンス 自己研修	モーニングレクチャー 訪問看護 外来レビュー 多職種カンファレンス 病棟回診 振り返り 自己研修	プライマリケアレクチャー 病棟回診 外来研修 訪問診療or緩和ケア回診 or病棟研修 振り返り 自己研修	病棟回診 外来研修 外来レビュー/各種講義 病棟研修 振り返り 自己研修	病棟回診 訪問診療 病棟研修 週間振り返り 自己研修
2週目	病棟回診 外来研修 外来レビュー 病棟研修 新患カンファレンス 自己研修	モーニングレクチャー 訪問看護 外来レビュー 多職種カンファレンス 病棟回診 振り返り 自己研修	プライマリケアレクチャー 病棟回診 外来研修 訪問診療or緩和ケア回診 or病棟研修 振り返り 自己研修	病棟回診 外来研修 外来レビュー/各種講義 病棟研修 振り返り 自己研修	病棟回診 訪問診療 病棟研修 週間振り返り 自己研修
3週目	病棟回診 外来研修 外来レビュー 病棟研修 新患カンファレンス 自己研修	モーニングレクチャー 訪問看護 外来レビュー 多職種カンファレンス 病棟回診 振り返り 自己研修	プライマリケアレクチャー 病棟回診 外来研修 訪問診療or緩和ケア回診 or病棟研修 振り返り 自己研修	病棟回診 外来研修 外来レビュー/各種講義 病棟研修 ジャーナルクラブ	病棟回診 訪問診療 週間振り返り 自己研修

◆ 卒後教育

① 初期臨床研修

熊大病院群初期臨床研修プログラムで総合診療科（大学病院）及び総合診療科（玉名拠点）を選択した初期臨床研修医3人に対し、総合診療・地域医療に関する教育指導を行いました。

また、2021年度からは新たに総合診療科（天草拠点）での研修を選択できるようになる予定です。

施設名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	研修受け入れ総人数
熊本大学病院													
公立玉名中央病院／玉名教育拠点							1	1			1	1	4

② 専門研修

熊本大学総合診療専門研修プログラムの専攻医8名に対し教育指導を行い、県内の公的病院において昨年から引き続き研修を行いました。

研修の支援・指導の充実を図るためテレビ会議システムを活用し、症例検討を遠隔で指導する「合同Webカンファレンス」を5回開催するとともに、専攻医の研究発表をテレビ会議システムを通じて各病院へ配信しました。

また、今年はZoomを用いて個人面談の頻回の実施と、例年よりも多くのレジデントデイを開催（6回）し、専門研修の進捗状況の確認・ポートフォリオの作成指導などを行いました。

2018年度研修開始の専攻医に関しては、4名が修了の見込みで2021年9月に行われる初の総合診療専門医試験を受験予定です。

本年度のプログラムへの応募状況は、他領域から総合診療領域に転科した専攻医が1名採用されました。

● 熊本大学総合診療専門研修プログラム

当プログラムは、日本専門医機構認定の総合診療医後期研修プログラムです。

熊本大学病院を中心として、熊本県内全域に広がる様々な医療施設の協力のもと、オール熊本として、総合診療専門医の育成に取り組むプログラムです。研修施設には、大学病院や地域中核病院に加え、小規模病院等も含まれ、県庁所在地である熊本市内のみならず、県内の各二次医療圏に研修施設があります。県内全域に広がる多くの施設がプログラムに参加することにより、異なる特性を持つ施設で、その地域に根づいた研修を行うことができ、本人の希望に応じた研修が可能となっています。

また、熊本県医師修学資金貸与の熊本大学卒業生（地域枠入学者を含む）や、熊本県出身の自治医科大卒業生に対し、総合診療専門医としてのキャリア形成支援に寄与することも目指しています。

● 研修プログラム

プログラム期間は原則として3年間で、総合診療専門研修、必修の領域別研修、その他の領域別研修で構成されます。その他の領域別研修は自分のキャリアに合わせて自由に調整可能です。

総合診療研修	総合診療Ⅰ（診療所・中小病院）	6ヶ月以上	合計 18ヶ月以上
	総合診療Ⅱ（病院総合診療部門）	6ヶ月以上	
領域別研修（必修）	内科	12ヶ月以上	
	小児科	3ヶ月以上	
	救急科	3ヶ月以上	
選択科研修	皮膚科、整形外科、精神科、etc…	希望に応じて	

▼総合診療研修・必修領域研修機関一覧

総合診療Ⅰ		阿蘇医療センター	小国公立病院	河浦病院	栖本病院
		そよう病院	公立多良木病院	新和病院	沢田内科医院
		安成医院	御所浦診療所	椎原診療所	湯島へき地診療所
総合診療Ⅱ		熊本大学病院	熊本医療センター	上天草総合病院	公立玉名中央病院
		人吉医療センター	天草地域医療センター	水俣市立総合医療センター	
内科		公立玉名中央病院	上天草総合病院	人吉医療センター	天草地域医療センター
		熊本総合病院	くまもと森都総合病院	熊本赤十字病院	
小児科		阿蘇医療センター	公立玉名中央病院	人吉医療センター	天草地域医療センター
救急科		熊本大学病院	熊本医療センター	公立玉名中央病院	人吉医療センター
		天草地域医療センター			
その他の領域	外科	そよう病院	公立玉名中央病院	人吉医療センター	天草地域医療センター
		熊本大学病院(消化器外科)	熊本大学病院(乳腺・内分泌外科)	熊本総合病院	山鹿市民医療センター
	産婦人科	人吉医療センター	熊本総合病院	天草中央総合病院	
	整形外科	公立玉名中央病院	天草地域医療センター	熊本大学病院	熊本総合病院
	皮膚科	公立玉名中央病院			
	泌尿器科	公立玉名中央病院	天草地域医療センター	熊本総合病院	
	放射線科	公立玉名中央病院	人吉医療センター	天草地域医療センター	天草中央総合病院
	精神科	熊本医療センター			
	麻酔科	公立玉名中央病院			
	リハビリテーション科	公立玉名中央病院			
	臨床疫学	熊本大学病院			

◆ 研修プログラムのスケジュール例

1. 熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラム

① 総合診療コース(例)

卒後(年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
① 勤務先の種別	基幹型臨床研修病院		第1グループ		第2グループ	第2グループ	第2又は第3グループ		後期研修(義務内)	義務年限終了
② 勤務(研修)先医療機関候補	臨床研修 県内の基幹型臨床研修病院		専門研修 ・公立玉名中央病院 ・人吉医療センター ・熊本総合病院 ・天草地域医療センター		・阿蘇医療センター ・小国公立病院 ・そよう病院 ・公立多良木病院 ・上天草総合病院 ・河浦病院 ・新和病院 ・栖本病院	第2グループの医療機関	第2又は第3グループの医療機関		県内の医療機関	
③ 義務償還期間(年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	―

【備考（総合診療）】

○　第１～３グループ、後期研修（義務内）の順序は入れ替え可能です。

○　第２、３グループの医療機関での勤務期間においては、専門性の向上などを目的として、週１日、勤務先以外の医療機関で研修を行うことが可能です。

○　研修先及び勤務先は、県内の各地域における医師不足状況等を踏まえ、県及び地域医療支援機構において調整した後、熊本県地域医療対策協議会で協議、決定します。

2. 本年度研修終了した専攻医の研修実績

専攻医①の研修ローテート

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	人吉医療センター　消化器内科 内科研修			人吉医療センター　総合診療科 総合診療Ⅱ研修			人吉医療センター　小児科 小児科研修			人吉医療センター 総合診療科 総合診療Ⅱ研修	公立玉名中央病院 総合診療科 総合診療Ⅱ研修	
2年目	公立玉名中央病院 総合診療科 内科研修					公立玉名中央病院　整形外科 その他領域研修		公立玉名中央病院　皮膚科 その他領域研修	公立玉名中央病院 循環器内科 内科研修		公立玉名中央病院 消化器内科 内科研修	
3年目	公立多良木病院　総合診療科 総合診療Ⅰ研修											

※ 玉名研修中に総診Ⅱ研修と並行して週１日の救急研修

専攻医②の研修ローテート

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	公立玉名中央病院　総合診療科 総合診療Ⅱ研修											
2年目	公立玉名中央病院 循環器内科 内科研修			公立玉名中央病院　小児科 小児科研修			公立玉名中央病院 消化器内科 内科研修		公立玉名中央病院 整形外科 その他領域研修	公立玉名中央病院 代謝内科 内科研修	公立玉名中央病院　皮膚科 その他領域研修	
3年目	熊本赤十字病院　内科 内科研修						安成医院 総合診療Ⅰ研修					

※ 玉名研修中に総診Ⅱ研修と並行して週１日の救急研修

専攻医③の研修ローテート

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	公立玉名中央病院　総合診療科 内科研修						公立玉名中央病院　総合診療科 総合診療Ⅱ研修			公立玉名中央病院　小児科 小児科研修		
2年目	天草地域医療センター 呼吸器内科 内科研修	天草地域医療センター　内科 内科研修					天草地域医療センター　総合診療科 総合診療Ⅱ研修					
3年目	御所浦診療所 総合診療Ⅰ研修											

※ 玉名研修中に総診Ⅱ研修と並行して週１日の救急研修

■ 研修施設一覧　令和2年度

1	くまもと森都総合病院
2	熊本赤十字病院
3	熊本大学病院
4	熊本医療センター
5	沢田内科医院
6	熊本総合病院
7	八代市立椎原診療所
8	人吉医療センター
9	公立多良木病院
10	公立玉名中央病院
11	安成医院
12	水俣市立総合医療センター
13	河浦病院
14	御所浦診療所
15	栖本病院
16	天草地域医療センター
17	天草中央総合病院
18	上天草総合病院
19	湯島へき地診療所
20	新和病院
21	山鹿市民医療センター
22	阿蘇医療センター
23	小国公立病院
24	そよう病院

4. 専攻医の声

北村　泰斗　先生　（専攻医3年目）

本年度は、前半は安成医院へお邪魔して家庭医療を学ばせて頂きました。後半は公立玉名中央病院・くまもと県北病院にて熊本大学総合診療専門研修プログラムでの3年間の総まとめとして、これまでの経験を活かしながら、さらにさまざまな経験を積ませて頂きました。この1年間は、改めて振り返ってみても、新型コロナウイルス感染症の影響を色濃く反映する1年間でした。安成医院では、本来の家庭医療に加え、発熱対応（PPE着用方法、動線の確保、検体採取方法など）、郡市医師会による新型コロナウイルスLAMP法検査所の立ち上げ、町民の皆さんへZOOMを用いた新型コロナウイルスについてのサロンを行うなど、さまざまな初めてを体験させていただきました。後半の半年は、これまでの経験が生かせる部分とまだ自分に足りない部分が明瞭になり、今後に生かせる半年であったと思います。熊本大学総合診療専門研修プログラムで3年間総合診療医を経験させて頂いて、少しずつ総合診療科としての役割、醍醐味、今後自分がやってみたいことなどがイメージできるようになってきたかなと思います。とてもとてもおもしろくて、あっという間の3年間でした。皆様、ご迷惑おかけ致しました。本当にありがとうございました。

久保崎　順子　先生　（専攻医3年目）

令和2年度は、前半の半年間は病院総合医としての研修として熊本赤十字病院の総合内科にて勤務しました。日赤病院の内科は感染症内科、腎臓内科、リウマチ科、腫瘍内科も含まれ、その専門の先生方のご指導のもと、今までの腎不全の透析導入や、膠原病の初診から治療までの経過、癌の治療や、緩和ケアなど、今まで経験する機会が少なかった症例を診ることが出来ました。優秀な若手の先生方の働きぶりにも非常に刺激を受けました。新型コロナ流行も重なり、より多忙さが増していた感もありましたが、とても良い経験となりました。

後半の半年は、プライマリケアの研修として、玉名市玉東町の安成医院で勤務しました。外来と、施設への往診、在宅診療を行いました。高齢の患者さんが多いため生活習慣病の他に、腰痛や肩痛などの症状を見ることが多い中、総合病院に紹介しなければならない重篤な症例もしばしばありました。日々の外来では、非薬物的治療として、食事、運動の指導や、禁煙指導を行いました。プライマリケア医として重要な予防医療を実践することが出来、とても有意義な研修となりました。

この1年では環境を変えたことで、医師としての自分の成長を実感し、また、まだまだ足りない点も多く自覚することになりました。来年度も志高く頑張りたいと思います。

空田　健一　先生　（専攻医3年目）

総合診療科の専攻医3年目のプログラムとして、御所浦に来て住んでみると想像していた以上に働く環境も自然の環境もよいところでした。御所浦では、釣り道具をたくさん購入しました。診療では、患者さんの生活習慣改善に取り組むことが多く、困難な場面を経験しました。たとえば禁煙について取り組むと雰囲気が悪くなったり、都合よく解釈されたり、うまくいかない場面が多く、禁煙指導の技術の奥深さを感じるとともに自分自身の成長につながったように思います。振り返ってみると私自身もこの3年間の中で自分自身に都合よく解釈した場面を思い出しました。上級医の先生方には多大なご迷惑やストレスをおかけしてきたことを心よりおわび申し上げます。できなかったことも多々ありますが、今はコロナのせいにさせてください。今後も皆さまに信頼していただける医師を目指し、しっかりと勉強していきます。今後もご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

永田　洋介　先生　（専攻医3年目）

今年度は専攻医3年目として、公立多良木病院総合診療科の研修を行いました。救急外来から慢性疾患の外来管理、診療所と引き続き幅広い経験をしました。地域で暮らす方々の健康を管理することはまさに総合診療そのもので、患者さんの社会的背景も含めて多面的に考えることの重要さを学びました。時には解決が難しい問題もありましたが、週に1度の上級医とのカンファレンスを通じて問題を解決し、充分なサポートの元仕事に従事することが出来ました。その他、研修日を利用し、上部消化管内視鏡、下部消化管内視鏡の手技を身につけ地域医療に従事しながらも高度医療や各科専門医による治療も同時に学ぶことが出来ました。今後も引き続き日々成長出来るように充実した研修を続けたいと思います。

早川　香菜美　先生　（専攻医3年目）

現在は天草の河浦病院で勤務しており、外来、病棟、訪問診療と多岐にわたり診療に携わらせていただいています。

今特に力を入れていることは、在宅医療です。河浦病院は本年度在宅医療サポートセンターに認定されたこともあり、院内に在宅医療部門を設立しました。訪問診療、訪問リハビリに加えて、訪問看護も新たに始めることになりました。院内には在宅医療に関して精通したスタッフがいなかったため、勉強会などを開催するなどスタッフ一丸となって取り組んできました。来年度から正式にスタートすることが決まり、何とか準備は完了したのではないかと考えています。来年度は病院を異動することになり、実際の診療に関われないのが少し残念です。

まだまだ未熟であり、他先生方やコメディカルの方、地域住民の方々に支えられながら日々診療を行っています。そんな方々に恩返しができるように自分にできる限りのことをやっていきたいと思っています。

平賀　円　先生　（専攻医3年目）

令和2年度は、総合診療Ⅰプログラムの球磨郡公立多良木病院内科･総合診療科で専門研修をしています。多良木病院以外にも五木村診療所や人吉医療センター救急外来でも診療を行い、地域医療にどっぷりと浸かっています。

今年度はCOVID-19の話題が多くを占めますが、最も印象的なのは7月豪雨災害でした。7月4日、当院近くの川も氾濫寸前。深夜に球磨村の被災施設から40人もの患者が一気に当院に搬送されました。保険証やお薬手帳など情報が何も無い、帰る家が無い、転院するにも病院が被災しているなど、日常では直面しない問題にも数多くぶつかりました。水害から半年以上経った今でも復興はほとんど進んでないように思います。また災害がいつ発生するか分からないこのご時世では、防災や災害医療に関する知識も必要不可欠なのだと感じました。

次年度は専門医取得が直近の目標です。また、研修医教育･学生教育、救急隊との連携なども自分のテーマとして勉強していきたいと考えています。

本田　宏介　先生　（専攻医1年目）

2020年度から専攻医研修プログラム開始の本田宏介と申します。

私は最初は他科に進もうと思っていたのですが、研修医2年次の研修時に、真夜中でも熊本市内から駆けつけ急変時の対応を長時間教えてくださった田宮先生、医学科6年次のクリニカル・クラークシップの時に大変お世話になった小山先生、毎日遅くまで指導してくださり総合診療科に熱心に誘ってくださった中村先生、土日の多くも患者さんの状態を診に来院されていた武末先生の姿勢に感銘を受けました。最後は小山先生と中村先生の存在が大きく、総合診療科に決めました。

2020年4月から公立玉名中央病院で総合診療科専攻医1年目としての勤務が始まりました。救急外来、病棟、初診外来のどれも大変勉強になりましたが、基本的に一人で行う初診外来は苦労しました。あらかじめ他院からの診療情報提供書を読み、朝のカンファレンスである程度の方針を話し合いましたが、それでも実際に患者さんからの話を聴くと新情報が出て来たり、入手した情報とは異なることもあったりと臨機応変な対応力が必要でした。どの先生方にも丁寧にご指導いただきましたが、中村先生、草野先生には特にお世話になりました。救急外来では毎回、田宮先生、小山先生、中村先生、武末先生、草野先生にサポートに入っていただき、重症症例の時も大変心強かったです。病棟業務は先生方のみならず、全ての病棟スタッフの方々のお世話になりました。

10月からは熊本大学病院の救急・総合診療部勤務となりました。大学病院という環境の特性もあり、実際に診療する患者数は公立玉名中央病院の救急外来より少なかったのですが、その分、じっくりと考えながら診療できました。お世話になった先生方が多すぎて書ききれないのですが、総合診療科の松井先生、谷口先生、佐土原先生、髙栁先生、救急部では救急専門医の入江先生、田中先生を初め多くの先生にご指導いただきました。診療以外の日常業務では、救急部では藤井さん、総合診療科では山並さんを初め多くの方々のお世話になりました。

公立玉名中央病院、熊本大学病院、どの先生方にも感謝の気持ちでいっぱいです。あと半年大学での研修が残っています。総合診療科と救急部で、これまで以上に頑張っていきます。

Ⅳ 指導医養成

◆ 熊本大学総合診療指導医養成プログラム

■ プログラムの概要

このプログラムは、熊本大学が提供する独自の指導医養成プログラムになります。大学という教育・研究機関が提供するプログラムである特色を活かして、個別のニーズに合わせて総合診療・家庭医療の臨床経験だけでなくアカデミックなキャリアも積むことができることが特徴です。内容は専門医を取得してから最初の専門医更新までの5年間の教育に特化しており、主に卒後5年目から卒後12年目の若手医師を対象にしたプログラムです。更には、医学生から専攻医までの様々な世代への教育の経験ができ、連携機関も県内多数に存在するため、多彩な診療能力をニーズに応じて学ぶことができます。

また、指導医の資格を取得後の様々なキャリアに即し、特にSpecial Interestを深められるように自由選択性の研修を2年ほど取り入れています。Special Interestの領域については、各人の興味のある分野をさらに伸ばせるよう熊本県内の医療機関で研修が開始できるように熊本大学が全面的にバックアップしていきます。

■ プログラムの対象者

1. 専門医機構における総合診療研修の指導医条件に該当する、または令和3年度から該当となる予定の方
2. 卒後5年目～卒後12年目の方

■ 研修期間(5年間)

1. 指導医養成基盤研修（3年ほど）
   - 総合診療研修施設(病院総合医・家庭医)での指導医研修
   - 1 年程度の大学教員(医員待遇)研修
2. 自由選択制研修（2 年ほど）
   - 個別のニーズに合わせて選択式の研修
   - Special Interest研修

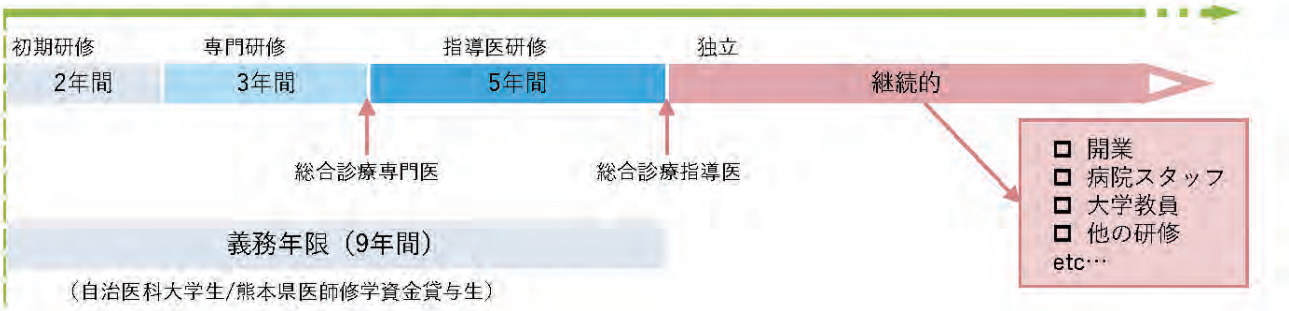
例)各種専門研修、開業・開業準備、留学等

各専門研修には、例えば、救急や緩和医療、在宅医療、などを準備しています。

■ 研修後のキャリアについて

指導医養成プログラムでは、世界水準の質の高い指導医を1 つのゴールとして、総合診療の指導医習得および、家庭医・病院総合医としてのブラッシュアップ, Special Interestの選択(専門医機構の今後の動向に合わせ検討)など、有意義な経験を積んでいただければと思っています。もちろん、指導医になることがゴールではなく、指導医習得後も更なるキャリア形成の機会を提供したく思っています。具体的には、指導医として地域医療従事、国内外の留学、大学院への進学、大学教員、開業(新規・継承)などがあると考えています。

また、このプログラムは、県の医師就学金貸与制度や自治医大の卒後研修など9年間の義務年限がある方々にとっても義務の研修を実施しながら、キャリア形成が可能で、義務終了後の次のキャリアにも結びつけることができる研修であるのも特徴です。



Ⅴ 講演会

主催 第1回 熊本大学総合診療セミナー 「熊本大学総合診療プログラム説明会 2020」
2020年7月31日(金) 19:00～20:00

- プログラム責任者より
  (熊本大学病院　救急・総合診療部　教授　松井　邦彦)
- 指導医によるプログラム説明
  (熊本大学病院　地域医療・総合診療実践学寄附講座
  特任教授　谷口　純一)
- 専攻医による研修内容説明
  (公立玉名中央病院　総合診療科　中村　孝典、専攻医3年目
  平賀　円、北村　泰斗、専攻医1年目　本田　宏介)
- 質疑応答

学生・初期臨床研修医の皆さんに多数のご参加をいただきました。
ありがとうございました！

主催 第2回 熊本大学総合診療セミナー 「 第2回 熊本大学総合診療プログラム説明会 2020 」
2020年10月29日(月) 19:00～20:00

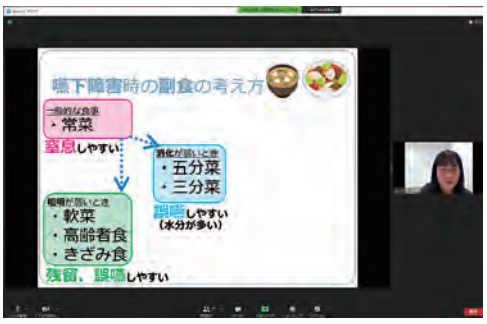
- プログラム責任者より
  (熊本大学病院　救急・総合診療部　教授　松井　邦彦)
- 指導医によるプログラム説明
  (熊本大学病院　地域医療・総合診療実践学寄附講座
  特任助教　佐土原　道人)
- 専攻医による研修内容説明
  (熊本大学総合診療専門研修プログラム 専攻医3年目　空田　健一)
- 質疑応答

学生・初期臨床研修医の皆さんに多数のご参加をいただきました。

主催 第3回 熊本大学総合診療セミナー 「 誤嚥性肺炎 」
2021年2月26日(金) 18:00～19:30

飯塚病院　呼吸器内科
吉松　由貴　先生

ZOOMによるWeb開催で、県内外から総勢116名の申込みをいただき、活発な意見交換も行われ、大変ためになったという声を多数いただきました。



主催　第4回 熊本大学総合診療セミナー 「 家族志向のプライマリ・ケア 」
2021年3月23日(火) 19:00～20:30

三重大学医学部　亀山地域医療学講座
教授　　若林　英樹　先生

ZOOMによるWeb開催で、43名の先生方にご参加いただきました。

セミナーでは、家庭医療／総合診療で求められる家族志向のケアに関する理論や実践について実際の症例をご提示の上でご講演いただきました。そのような複雑な症例だけでなく、通常の診療の中でどのように家族システムの視点を取り入れているかなど実践に即した内容もありました。また質疑応答の時間では、電子カルテ上で家族図が描いて保存できない場合の対応策なども双方向に協議することができました。

Ⅵ その他

地域医療・総合診療実践学寄附講座のホームページをリニューアルしました。
http://www.chiiki-iryo-kumamoto.org/dcfgm/